



栗山小



栗山小



継立小



角田保



栗山小



継立保



継立小



角田小



角田小



栗山小



栗山小



栗山小



継立小



栗山小



栗山小



角田小

2011 運動会
雨あり晴れあり曇りあり
子どもたちの笑顔いっぱい！



継立保



栗山小



3 いちい保



いちい保



角田保



いちい保



継立保



継立保

地域みんなで地域づくり



日岨多目的広場を楽しむ

日出連合町内会（佐藤清光会長 63戸）が3年越しで造成を進めてきた「日出多目的広場」が完成し5月29日、その落成式が行われ、地域の人们など約40人が祝いました。

この広場は、地域住民がトラクターなどを持ち寄り造成し、芝の種を蒔き育てるなど多くの住民ボランティアが行われました。

地域の熱意で完成した広場には、9ホールのパークゴルフ場が整備されこれから健康づくりの場として活用されます。

その広場を、新しい地域づくりの一例として紹介します。

高齢化が進む地域で

地域のボランティアが中心に

栗山町の高齢者比率（65歳以上人口比率）は現在30%を超え、これからも増えていくことが予想されています。

町内の「日出地区」は、150人弱の人たちが住む集落で、その内65歳以上の人口が60%を超え、一般的に言われている限界集落（65歳以上人口比率50%以上）の50%を超えています。

その「日出地区」で5月の末、「日出多目的広場」が完成しました。

平成20年8月から日出連合町内会が中心となり、地域の意見を調整し、町への要請を行うなど、当時の関係者は「地域の熱意」を相当感じたと話しています。

平成21年5月、造成することが決まると、地域にとっては、そこからの大変でした。敷地に残っていたオ

ンコの根を抜く作業、整地などの造成を地域住民のボランティアで行います。幸い、地域にはトラクターなどの重機を所有している方も多く、トラクター3台、ブルドーザー1台、パワーショベル1台などを動員し、延べ104日間の作業となりました。その間、人力による奉仕は延べ240日間。合計344日分のボラ



（写真提供：佐藤清光会長）



日出多目的広場

日出生活館の西側に位置する、敷地面積7,884㎡、9ホールのパークゴルフ場です。9ホールだけでは寂しいと、1つのホールに2つのティをもち、白・黄の2コースで18ホール分を楽しめます。

ンティアが行われました。手作業によるボランティアの平均年齢はなんと81歳。重機操作は少し若くて平均73歳の方々がされました。

地域の熱意で

日出連合町内会は、その名のとおり5つの町内会が連合し、63戸の家庭で構成されています。会長の佐藤清光さん（78歳）は、「高齢の地域住民が率先してボランティアをしてくれたことに感謝と敬意を表します。もしかしたら、逆に若い人たちが忙しくてできなかったかもしれない。日出住民のボランティア精神の強さや熱意を感じます。2年前の町内会総会で、ボランティアで作業に入ることが満場一致で決まりました。」と話されます。「これから広場を活用し、楽しむことを考えます。自分たちが楽しむためには、自分たちで何らかの負担するこ



（笑顔で語る佐藤清光会長）

とも必要ではないでしょうか」と話されています。

高齢者とは？

後期高齢者とは？

佐藤会長は、こう問いかけます。「日出地域の65歳以上は90人います。その半数が80歳以上です。この広場を作るにあたって、僕よりも一回り上の人が一生懸命ボランティアをしてくれました。90歳を超える方々がです。世間で

は75歳以上を後期高齢者なんて呼んでいますが、その言葉はこの地域では通用しません。よく言われる「限界集落」なんて言っていられないんです。年齢や比率で定義づけをすることは、その人、そこに現実に生きている人に対して失礼なことではないでしょうか？するべきではないと思います」と話しています。

さらに、日出町内会では、敬老に対する考え方も一歩進んでいます。「10年以上前には、70歳以上の方を対象に敬老祝いとして、地域で祝い膳を囲んでいました。しかし、これだけ年配者が増えるともういいかない。そのため、最初のお祝いは77歳の喜寿からと決めました。次は88歳の米寿ですし、その次は99歳の白寿です。これを決めた時は、次の年に70歳になる方から相当言われてね。なんとか理解してもらいましたがね」と苦笑します。

これからも頑張る！

佐藤会長は続けます。「これからも、地域の人たちと楽しむことを考えます。人生わずか30000日と言われていきます。82年と少しです。私にあと何日残っているかわかりませんが、年齢なんか考えないで、生きている限り頑張りたいと思います」と...

皆さんに使ってほしい

最後に佐藤会長は「この広場は、いろいろな人たちの協力で造ることができました。本当に感謝しております。みんなで造り上げ、管理するこの広場を皆さんに使っていただきたいと思います。自由に楽しんでください」と話しています。

消防庁長官表彰 ※敬称略
日本消防協会定例表彰

◆勤続章

小針 清 (第1分団分団長)
鈴木英雄 (第3分団分団長)
梶澤正則 (第1分団部長)

南空知消防組合管理者表彰

◆精勤章 (勤続25年)
八手健治 (第3分団団員)
◆精勤章 (勤続20年)
黒河一也 (第1分団班長)
塩見 望 (第1分団班長)
川畑憲吾 (第2分団班長)

◆優秀章
沼田政則 (第1分団団員)
越前孝行 (第1分団団員)
高野龍一 (第2分団団員)
亀森辰雄 (第2分団団員)
八手健治 (第3分団団員)
谷内智隆 (第3分団団員)
中島昌一 (第3分団団員)

◆感謝状 (退団者)

金森正明 (元第2分団部長)
藤田栄治 (元第2分団班長)
幅田正志 (元第3分団班長)
武田 孝 (元第2分団班長)
横山幸二 (元第1分団団員)

団長表彰

◆功績章

宮本 武 (第3分団班長)
◆精勤章 (勤続10年)

◆功績章

南坂明憲 (第2分団副分団長)
◆精積章
小針 清 (第1分団分団長)
田鎖充雄 (第1分団副分団長)
中谷 保 (第3分団班長)

◆勤労章

古田敏幸 (第2分団班長)
宮本 武 (第3分団班長)

◆精勤章 (勤続30年)

鈴木英雄 (第3分団分団長)
梶澤正則 (第1分団部長)
谷永良一 (第1分団班長)

◆精勤章 (勤続5年)

瀧澤茂和 (第2分団団員)
清水哲矢 (第3分団団員)
不破 潤 (第3分団団員)
小川貴臣 (第3分団団員)
富樫真由 (第3分団団員)
國岡晃平 (第3分団団員)
猪熊政信 (第3分団団員)



長年ありがとうございました

厚生労働大臣表彰*村上美枝子さん



長く民生委員を務められた村上美枝子さん(継立)が厚生労働大臣の特別表彰を受賞し6月9日、役場応接室で椿原紀昭町長から表彰状が伝達されました。村上さんは昭和55年から昨年11月末に退任されるまでの30年間、民生委員・児童委員として地域の福祉向上に貢献してこられました。その間、栗山町民生委員児童委員協議会の副会長を15年間務められるなど、町の社会福祉向上にも努められました。表彰状を手にした村上さんは「みなさんのお陰で務めあげることができました。ありがとうございます」と話していました。

全国教育委員会表彰*磯野武司さん



平成10年から12年間余り、町教育委員会の委員長を務められ昨年末退任された磯野武司さん(中央4)にこのほど、全国市町村教育委員会連合会より表彰状が贈られ、6月16日、鈴木紀元教育長から伝達されました。磯野さんは12年間を振り返り「全国で相次いだ“いじめ自殺事件”の対応で、一時、教育委員会不要論が渦巻いた時期がありました。栗山は行動する教育委員会として活動し、いじめ実態調査の実施や、北海道が行う家庭教育サポート企業制度に取り組み町内100社以上の賛同が得られるなど、成果を出せたと思います」と話していました。

新連載!

みんなのでつくる
まちの憲法 ①



「くりやまの自治基本条例をつくる会」
が設立される!

「まちの憲法」とも言われる自治基本条例の制定に向けた、第1回目の「くりやまの自治基本条例をつくる会」が6月17日、総合福祉センター「しゃるる」で開かれました。今年2、3月の町教育委員会主催「地方自治講座」受講生5人が「住民が主体となった条例づくりを」という理念のもと、町とともに準備を進めてきました。

今回の第一回会議では、公募による12人が集



まり、会の名称や目標など基本的なことを協議し、会の代表に高橋慎さん、副代表に菊池鉄男さんを選出しました。

■会の目標

条例の骨子(素案)を作成し町長に提案

■会の期間

平成23、24年度の概ね2年間(条例が制定された日まで)

■会の考え方

会以外の多くの町民の参加のもと策定を進める。町議会や町とも連携しながら策定を進める。

「つくる会」では今後、アンケート調査や各団体との懇談会など、多くの町民に参加してもらう機会をつくりながら、役場や議会運営の仕組みや町民参加のあり方など、テーマごとに検討を進め、栗山町の実態にあった「町民のための条例づくり」を目指しています。

■会の参加者 ※敬称略

高橋慎代表(松風4)、菊池鉄男副代表(中央1)、大沼英明(松風2)、小林弘和(桜丘2)、冬野大希(朝日4)、尾崎政春(桜丘1)、青木隆夫(湯地)、井田一恵(桜丘1)、永田英隆(角田)、田中秀典(継立)、清水滋子(桜丘1)、萩野佳記(継立)